



## ご意見をお寄せください

自治労京都府本部では、組合員のみなさんのご意見を募集しています。組合のこと、機関紙のことなど、たくさんのご意見をお待ちしています。  
TEL.075-252-5932 FAX.075-231-4918  
E-mail : jichiro@jichiro-kyoto.gr.jp  
http://www.jichiro-kyoto.gr.jp/

## 自治労きょうと

発行所・自治労京都府本部 TEL 075-252-5932 京都市中京区丸太町通烏丸西入北側N・H・Kビル2F  
TEL. 075-252-5932・FAX. 075-231-4918 発行人・岡本哲也 編集人・森本秀秀  
定価 一部10円 本紙の購読料は組合費に含まれています。

3 / 1  
2024

第874号

府本部  
第180回  
中央委員会

## あなたの声」を春闘に



**京都市長選挙**  
**松井孝治さん初当選**

2月4日投票の京都  
市長選挙で松井孝治候補  
が無事当選を果たした。

冒頭、岡本委員長は、  
「2月4日投票の京都  
市長選挙で松井孝治候補  
が無事当選を果たした。  
多くの組合員に感謝申し  
上げる。今年の春闘で連  
合の賃上げ目標は5%以  
上。中小企業においても  
この間原材料費だけでな  
く賃金分の価格転嫁でき  
よう取り組みが進んで  
いる。私たち自治労の春  
闘テーマは『あなたの声  
ではじまる春闘』。賃金  
だけでなく時間外労働や  
ハラスメント、空調やト  
イレの環境など組合員の  
身近な声を集めて要求書  
として提出し、秋の賃金  
確定闘争につなげてほし  
い。



▲2024春闘勝利に向け、団結ガンバロー

府本部は2月9日、第180回中央委員会を京都府部落解放センターで開催。2024春闘を中心とする当面の闘争方針や府本部役員の補充など4つの議案が確認された。出席中央委員は20単組41人で女性参画率は24・39%となった。

冒頭、岡本委員長は、「2月4日投票の京都市長選挙で松井孝治候補が無事当選を果たした。多くの組合員に感謝申し上げる。今年の春闘で連合の賃上げ目標は5%以上。中小企業においてもこの間原材料費だけでなく賃金分の価格転嫁できよう取り組みが進んでいる。私たち自治労の春闘テーマは『あなたの声ではじまる春闘』。賃金だけでなく時間外労働やハラスメント、空調やトイレの環境など組合員の身近な声を集めて要求書として提出し、秋の賃金確定闘争につなげてほしい」と述べた。

自治労本部は1月29日から2日間、第165回中央委員会を東京都内で開催。京都から中央委員として参加した梶村府本部副委員長は下記2点について発言した。(1)地域手当、特に「国基準を上回る手当支給による特別交付税減額措置の撤廃」(2)京都市長選挙における状況報告と全国の仲間に家族、知人の支援を要請。

**会場発言・答弁**

■石橋中央委員(国保労組)：①国保事務統廻りシステムの標準化と効率化のため2024年度から新システムへの移行が計画されているが、合理化が過度に進むと住民サービス低下や職場基盤の弱体化が懸念される。(2)55歳以上の昇給停止の提案に反対し、要

求実現のため府本部や自治体単組の支援を要請。来年の参議院選挙で岸まきさん再選に向け全力で支援したい。

■中川中央委員(京都市職労)：①本部動画「ありつけの現場力」作成協力に感謝。(2)京都市長選挙勝利のお礼と次期自治体選挙に向けた課題整理を。③能登半島地震の被災地支援に関し、現場の苦境や公務員の減少傾向などを報告し、全体的な合理化提案への危機感を表明。

▲答弁する増永書記長

として全労で取り組みを。これまで手紙や文書を送る人が多かった。手紙以外にも試験の願書、就活の履歴書、クリスマスカードに写真。今ではメールやLINE等で瞬時に送ることができ、情報のやり取りは進歩したのだが、気持ちのやり取りは果たしてどうなのか? 交思

う。同じ場所で3日間撮影をしており、過去の再放送もされている。そこで、モードとしての人気も高まっている。そこで、モードでも応援をお願いしたい」と主催者を代表してあります。また政府予算の地方財政計画では、公務員の地方議事入り、経過報告と一般会計および特別会計監査報告が承認されました。次に、4つの議案(1)

■高橋中央委員(八幡市職労)：①八幡市長選挙に参加する際に日程が調整できない課題があり、早めの情報周知を要望。③低い給与水準が入員不足を招いている現状に対処するため、中央本部に地域手当の見直しを求める。④自民党政権は末期状態。京都からの政権交代をめざし自治労の運動

■増永書記長：【国保労組】新システム移行について、保険者や自治体と一緒に、保険者へのモチベーションを。八幡府本部から55歳以上の職員へのモチベーションを確保について、全単組での取り組みは全単組での取り組み連携し情報共有したい。

■執行委員武田勝臣さん(京都市職)

■執行委員山本勇さん(京交労組)

■執行委員西川翔さん(井手町職)

■執行委員村城安美さん(京田辺市職)

■執行委員佐野賢佑さん(国保労組)

■執行委員住吉晃汰さん(八幡市職)

■執行委員佐野賢佑さん(国保労組)

■執行委員佐野賢佑さん(国保労組)</p



1日目は沖縄各地に残る第二次世界大戦、沖縄戦について学んだ。

まず初めに南風原（はえばる）とひめゆりの塔に行き、映像資料や戦争時に使用された現存する壕に立ち入り、過去に起きた戦争の悲惨な体験を追体験することができた。1番印象に残ったのは、戦争で他国の兵士に殺されるのではなく、日本のそれも本来であるならば命を救う側である軍医に、敵軍の捕虜にさせないよう動けない兵士が毒殺されていたという事実である。このような悲惨な戦争をなくすために、自分たちの世代でもしっかりと戦争反対運動を続け、またこの平和を維持していくことが戦争で亡くなつた方たちにできることだと感じた。

2日目は沖縄県で問題となっているアメリカ軍基地の課題について学んだ。テレビでの報道を観るだけではわからない実際に沖縄に住まわれている方への騒音問題を目の当たりにすることができた。

今回の研修で得た沖縄の問題を、他人事ではなく同じ日本国民としてこの問題に立ち向かっていかなければならぬと感じた。個人の力は小さいものではあるが、自分自身にできることを行っていきたい。

城南衛管労組・奥村怜



今回の沖縄フィールドワークでは過去の戦争の悲惨な歴史、今も地域住民を悩ませる米軍基地の問題、アメリカ文化との共生、沖縄の食文化など幅広い分野に触れることができました。

その中で特に印象に残ったことは高台から行った米軍基地の見学です。今まで沖縄の戦争の歴史とその後の基地問題について報道を見聞きする機会は多くありましたが、恥ずかしながら遠くで起こっている自分にあまり関係ない問題という認識でした。

しかし実際に現地を訪問し日々生活が脅かされている地域住民の不安の声やそれに対応する現地役場の方の話を聞き、また実際に離着陸する戦闘機の騒音を体感することによって基地問題の難しさと深刻さについて理解を深めることができました。

今回のフィールドワークは沖縄の現状をより深く知ることができたと同時に、現地で実際に体験することの大切さを再認識できた有意義なものであり、自身の単組においてもリアルに触れることを重視した活動を展開したいと思います。

京交労組・安部行真

## <近畿地連結成70周年記念事業> 沖縄フィールドワーク参加者報告

### 戦闘機の爆音、基地問題…

# 私たちが感じた 平和の大切さ

2024年1月21日～23日の間、近畿地連結成70周年記念「沖縄フィールドワーク」に参加した。

南風原文化センターやひめゆり平和記念資料館の見学では、映像や展示により沖縄戦を学習したほか、実際に沖縄陸軍病院として機能した壕に入り追体験を行った。戦時中の悲惨な情景を肌に感じ、改めて戦争の愚かさを痛感するとともに二度とこのような惨劇を起こしてはならないと強く思った。

また日本にある米軍基地のうち、約7割を占める沖縄県の基地も複数訪れた。基地では、戦闘機や偵察機などにより、急速に旋回を繰り返す飛行訓練が行われていた。

また、飛行とともに発する爆音は、慣れているはずの現地の住人ですら、訓練機が飛来する度に、見上げたり耳を塞いだりする様子が見受けられ、沖縄県では人々の平穏な生活を妨げる事態が日常的に繰り広げられていることが伺えた。

現地での自治労沖縄県本部との交流を通じては、沖縄県が抱える様々な問題に対し、他府県本部においても自分ごととしてどうえ、共に解決に向けて取組を強化することの重要性を実感した。今回の沖縄フィールドワークを経て、私の平和に関する意識は格段に高まった。

久御山町職・小笠原隼



自治労近畿地連は1月21日から23日、各県本部の青年女性組合員を対象に、「沖縄フィールドワーク」の取り組みを行った。近畿地連結成70周年記念事業として企画され、平和運動の意義を伝え、次代の担い手育成を目的に実施された。参加者は、日本で唯一地上戦が行われ、多くの民間人が犠牲となつた沖縄の惨状や、本土復帰後も全国の米軍基地面積の70%以上が集中する沖縄の基地問題などについて学習。京都府本部からは増永書記長と若手組合員5人が参加した。参加者のレポートを掲載する。

今回の記念事業を通じて、印象に残ったことは以下の3点です。

①大切な人を守るために、また平和な暮らしをし続けていくためには、絶対に戦争を繰り返してはいけない。

②騒音を始めとする公害問題やインフラ等に影響を及ぼす米軍基地と共に存することへの苦悩や土地の有効活用方法について。

③地域を守るために平和運動と職場の仲間を守るための組合運動が非常に似通っていること。

現地を訪れ、平和について学ぶことは初めての経験であり、同じ日本に住んでいても知り得ないことが多くありました。基地のすぐ傍には街があり、会議や電話を中断しなければならない程の戦闘機等の爆音を何度も肌で感じました。そこで生活を送られている方の苦労が垣間見え、また、他人事で済ましてはいけないことについても再認識させられました。

平和運動をされている現地の方からお話を伺い、一人ではできないことを団体として交渉する点については、平和運動も組合運動も同じであり、組織力が肝心要であることがわかりました。当たり前のように過ごしている平凡な生活に感謝しつつ、よりよい生活を送るために、一人でも多くの方々と協力しあう必要性があり、今後も運動を続けていかなければならぬないと感じました。

八幡市職労・大池加恵

## 2024新年号クイズ 当選者発表

キーワードを繋げると「前人未到八冠達成の史上最年少棋士は?」となり、「藤井聰太」が正解でした。

応募総数は167通。たくさんのご応募・ご意見・感想ありがとうございました。厳正なる抽選の結果次の方が当選されました。当選者には商品券5千円分を進呈します。

**[当選者]** 自治労京都市職 西本泰士 様  
自治労京都市職 沖恵太 様  
京都市学給労 大西和香子 様  
八幡市職労 古賀希菜子 様  
城南衛管労組 奥村正幸 様



2024年春期

## 京都労働学校 受講生募集

4月～6月開講

受付中

### 今こそ学ぶ スキルアップ！

New

AI/人工知能活用入門・中級、人生設計＆お金のキホン

オススメ

最新！労働法入門、3級FP、簿記、心理学

英会話：スピーキングのコツ、ビジネス英会話 他



主催：京都市・ラボール学園(公益社団法人京都勤労者学園)

詳しくはHP・講座案内をご覧ください。

お申し込みは、WEB・電話にて

075-801-5925

受付時間：平日9:00～20:00、土曜9:00～17:00 (日曜・祝日は休み)

中京区四条御前ラボール京都3F

ラボール学園

